

 みんなが安心して暮らせるまちに！

* もくじ *

- P2 P3 平成22年度
事業計画・予算
- P4 P5 事務局体制・お知らせ
- P6 ボランティアセンターだより
- P7 善意銀行・福祉パズル
- P8 福祉カレンダー・ご案内

ふ	く	し
ね	っ	と
多	可	発行日 平成22年5月1日 第40号



「さとやまの風」
のみなさんが
アロマハンドケアに
来られました！

女性の方はもちろん、
男性の方もたいへん
よろこばれて
ました。

発行／社会福祉法人 **多可町社会福祉協議会**

〒679-1133 多可郡多可町中区糀屋434番地11

電話 (32) 3425 Fax. (32) 4162

多可町社会福祉協議会は、「みんなが安心して暮らせるまちづくり」を基本目標として掲げ、事業の充実と地域福祉活動の推進を図ります。

今年度は、第1次地域福祉推進計画に基づく取り組みの最終年度であり、評価・見直しの取りまとめを行い、第2次地域福祉推進計画に反映させて策定を行います。

* 各事業の取り組み *

①介護保険事業・障害者自立支援事業の推進

利用者やご家族の状況に応じた自立を支援するサービスの提供に努めます。

- ・ 居宅介護支援事業（ケアプラン）
- ・ 訪問介護事業（ホームヘルプ）
- ・ 訪問入浴介護事業
- ・ 認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム やすらぎの郷）
- ・ 通所介護事業（デイサービスセンターやすらぎ）
- ・ 障害者自立支援事業

②自立支援に向けた在宅福祉サービスの充実

住み慣れた地域で安心して生活するために必要なサービスの実施に努めます。

- ・ 給食サービス（ふれあい型）事業
- ・ 外出支援サービス事業
- ・ 福祉車貸出事業
- ・ 福祉機器貸出事業
- ・ 生きがい活動支援通所事業
- ・ 福祉サービス利用援助事業
- ・ 心配ごと相談事業
- ・ 虹のつどい（一人暮らし高齢者とボランティアのつどい）
- ・ 軽度生活援助事業
- ・ 買い物ツアー事業
- ・ ふとん丸洗い事業
- ・ 資金貸付事業

③当事者の組織化・支援活動の推進

当事者が心身のリフレッシュ・情報交換・仲間づくりができるよう、つどいや交流会の開催を支援し、当事者が相談しやすい体制を確立するために、ニーズの把握や情報提供に努めます。

- ・ 介護者への支援
- ・ 子育て中の親への支援
- ・ 障害者への支援
- ・ 福祉団体への支援
- ・ 慰問事業

④ボランティア活動の支援と活性化

ボランティアによる助け合い活動の促進のため、ボランティアの調整や活動支援、相談や情報の提供、啓発および講座の開催などを行います。

⑤福祉学習の推進

地域の多様な人材、学校、福祉施設等と連携しながら福祉学習を推進し、学校が行う福祉プログラムに対して助成を行います。

⑥小地域たすけあい活動の充実

安心して生活できる地域拠点づくりが必要です。地域の情報収集、支部地域福祉センターの機能強化に努めます。

- ◎ ・ 地域福祉推進委員会の開催
- ◎ ・ ふれあいいきいきサロン
- ・ 地域見守り訪問事業
- ・ 地域福祉活動助成事業

⑦相談・マネジメント・ネットワーク化活動

情報共有による効率的な事業展開をはかるため、ケース検討会や地域ケア会議などへ積極的に参加し、民生委員児童委員や関係機関等との連携強化を図ります。

⑧組織・財政面の強化

地域のみなさんからの会費や共同募金の配分金、善意銀行への預託、介護保険事業による自主財源の他、補助金や委託金を十分に確保できるよう、計画的な視点を持って財源強化に努めます。

[経営に関する取り組み]

- ・ 事業推進を図るため、各部会を開催します。
- ・ 職員のスキルアップのため、職場内研修、職場外研修に参加します。

◎第1次地域福祉推進計画の年次点検

☆第2次地域福祉推進計画の策定

[財源に関する取り組み]

- ・ 社協会員への協力依頼
- ・ 財源確保と情報公開

⑨情報・調査活動の推進

社協活動のPRや地域の福祉ニーズの把握、意見交換の場として座談会を実施し、今後の事業に反映していきます。

- ・ ふくしねっと多可の発行
- ・ ホームページによる情報発信
- ・ 社協ガイドの作成
- ◎ ・ 住民座談会の開催
- ◎ ・ 社協まつりの開催

重点事業・・・◎
新規事業・・・☆

平成22年度に取り組む事業のうち、重点事業や新規事業、変更のある事業を紹介します。

★第2次地域福祉推進計画の策定

今年度は第1次地域福祉推進計画の最終年度となります。評価委員による進捗状況の点検・評価をしっかりと行い、次期策定につなげます。

◎住民座談会の開催

社協が行っているサービスや事業の啓発を行うとともに、地域の要望や意見を把握するため、区長協議会の協力を得ながら引き続き実施します。計画の最終年度となる今年度は、全ての地区で終えるよう努めます。座談会で出た意見や要望は、今後の社協活動や次期計画へ反映していきます。

◎社協まつりの開催

福祉についての理解と関心を高め、地域のささえあい・たすけあい・福祉のまちづくりについて考える機会として、10月に社協まつりを開催します。

◎地域福祉推進委員会の活動強化

研修会や会議を定期的に開催し、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めるための協議の場を提供し、支援します。

◎サロン活動の支援

身近な地域において、気軽に出かけて仲間づくりをしたり、一緒に食事をしたりするなど、自由な雰囲気のもとでふれあい交流することができる場の立ち上げ、継続を支援します。

平成22年度

多可町社会福祉協議会 資金収支予算書

自 平成 22年4月1日 至 平成 23年3月31日

(単位:千円)

	科 目	予 算 額		科 目	予 算 額
経常活動	会費収入	6,115	経常活動	貸付事業等支出	500
	寄附金収入	3,000		分担金支出	143
	経常経費補助金収入	50,972		助成金支出	2,250
	受託金収入	40,005		経理区分間繰入金支出	22,839
	事業収入	7,857		経常活動支出計 ②	292,429
	貸付金事業収入	430		経常活動資金収支差額 ③=①-②	21,116
	共同募金配分金収入	6,686	施設整備等	施設整備等収入計 ④	0
	介護保険収入	162,735		固定資産取得支出及び繰入支出	1,035
	自立支援費等収入	9,268		施設整備等支出計 ⑤	1,035
	補助事業等収入	1,436		施設整備等資金収支差額 ⑥=④-⑤	△ 1,035
	事業外収入	315	財務活動	財務活動収入計 ⑦	0
	雑収入	1,746		積立預金積立支出	5,281
	受取利息配当金収入	141		その他の支出	5,584
	経理区分間繰入金収入	22,839		財務活動支出計 ⑧	10,865
	経常活動収入計 ①	313,545		財務活動資金収支差額 ⑨=⑦-⑧	△ 10,865
	人件費支出	189,527	当期末資金収支差額合計 ⑩=③+⑥+⑨		9,216
	事務費支出	16,547	前期末支払資金残高 ⑫		145,476
	事業費支出	60,623	当期末支払資金残高 ⑬=⑩+⑫		154,692

科目の内容

会費収入	社協一般会費、賛助会費、団体会費	介護保険収入	介護保険サービスの介護報酬や利用者負担金など
寄附金収入	善意銀行へ預託いただく寄附金	自立支援費収入	障害福祉サービスの介護給付費収入や利用者負担金など
経常経費補助金収入	兵庫県や多可町からの補助金	経理区分間繰入金収入・繰入金支出	他の経理区分から繰り入れる資金収入及び支出
受託金収入	兵庫県や多可町から委託を受けた事業の委託金	施設整備等の科目	社協が行う固定資産の取得に関するもの
事業収入	給食サービスや福祉サービスの個人負担金など	財務活動の科目	社協が行う財務活動に関するもの
貸付事業収入	社協の貸付事業(法外援助資金)の償還金	当期末資金収支差額合計	平成22年度予算の収支残高
共同募金配分金収入	平成21年度にご協力をいただいた「赤い羽根共同募金」の配分金、歳末たすけあい募金	前期末支払資金残高	平成21年度末の繰越額
		当期末支払資金残高	平成22年度末での残高予定額

社会福祉協議会 事務局体制

八千代支部

支部長 上田 光代

障害者自立支援事業所

管理者
(兼)遠藤 博美
ヘルパーステーション
サービス提供責任者
(兼)有延 孝子
ホームヘルパー
登録ヘルパー兼務

訪問入浴介護事業所

管理者
(兼)遠藤 博美
ヘルパーステーション
サービス提供責任者
(兼)安藤 泰子 (嘱託)
介助員
登録ヘルパー兼務
非常勤
看護師 1名
介助員 1名
オペレーター 1名
運転員 2名

認知症対応型 共同生活介護事業所

グループホーム
やすらぎの郷
施設長
安藤 千恵
介護職員
小林 妙子(嘱託)
吉川 幸子(嘱託)
藤田 眞美(嘱託)
夜間介護職員
藤本 利明(嘱託)
藤本 昌弘(嘱託)
非常勤
介護職員 2名

生きがい活動 支援通所事業所

管理者
永井 和子(嘱託)
非常勤
生きがい活動支援員 1名
看護師 3名
春蘭荘管理人 4名
おもいで荘管理人
(シルバー人材
センター委託)

地域福祉活動推進員 兼
地域ボランティア活動推進員
山尾 和洋

非常勤
外出支援運転員 1名

介護 ワン ポイント

えんげ 嚥下障害って??

「えんげ」とは簡単に言うと、「食べ物や飲み物を飲み込むことです。」
高齢になると、食事の時に咳き込むことが多くなったり、口の中に食べ物をいれたままなかなか飲み込めない時があります。「嚥下障害」は特別な病気の後遺症として現れるのではなく、加齢により誰の身にも起こりうる障害です。
食事の前に飲み込みに必要な口・喉の周りの筋肉や舌の動きを活発にする嚥下体操を行うことで、「食べるぞ!」という気持ちの準備ができ、食べ物を飲み込みやすくし、食べ物や飲み物が気道に入ってしまうことを防ぎます。

☆ 嚥下体操

1. ゆっくりと深呼吸します。
2. ゆっくりと首を前後左右に動かし、またぐるっと回します。
3. ゆっくりと肩の上げ下げをし、また肩を回します。
4. 両手を組んで大きく伸びをします。
5. 頬をふくらませたり、引っ込めたりします。
6. 舌を出したり、引っ込めたりし、また左右にも動かします。
7. 「パタカ」もしくは「タカラ」を、始めはゆっくりと5回繰り返し、次に早く5回繰り返して言います。
8. ゆっくりと深呼吸します。

☆ 嚥下障害に向かない食形態。

- ・ さらさらした液体 ➡ 水、お茶など。
- ・ 口の中でバラバラになりまとまりにくいもの ➡ 肉、こんにゃくなど。
- ・ 水分が少なく、バサバサした物 ➡ ゆで卵、パンなど。
- ・ 口の中や、のどに張りつきやすい物 ➡ のり、わかめなど
- ・ 粘りの強い物 ➡ 餅、だんごなど。
- ・ すべりのよすぎるもの ➡ 寒天、ゼリーなど。
- ・ 硬い物 ➡ たこ、ごぼうなど。
- ・ 酸味の強い物 ➡ 酢の物、柑橘類など。

事務局長
足立 壽

本部・中支部

支部長 高原 誠

福祉活動専門員
立脇 礼子
ボランティア
コーディネーター
藤田 成子
専任職員 経理担当
釜谷 薫
専任職員 団体事務
田尻 泰啓
専任職員 庶務担当
高羽 奈緒子(嘱託)
非常勤
外出支援運転員 2名

加美支部

支部長 高橋 定雄(嘱託)

地域福祉活動推進員 兼
地域ボランティア活動推進員
立脇 健吾
専任職員
足立 佳苗(嘱託)

介護事業部本部

本部長(兼) 高橋 定雄(嘱託)

居宅介護支援事業所
管理者
藤田 朋子
介護支援専門員
寺尾 操
小野 美千代
宮崎 みつゑ
(嘱託)

通所介護事業所
デイサービスセンター
やすらぎ
管理者
橋詰 美千代
生活相談員
足立 吉継
介護職員兼調理員
越川 淳子
非常勤
看護師 4名
運転員 1名
調理員 2名
介護職員 13名

訪問介護事業所
ヘルパーステーション
管理者
遠藤 博美
サービス提供責任者
細田 芙美代
有延 孝子
ホームヘルパー
安藤 泰子(嘱託)
藤賀 寛子(嘱託)
中島 かおり(嘱託)
山本 恭子(嘱託)
登録ヘルパー 18名



新しい顔

このたび、事務局長として町から派遣されました、
足立 壽(ひさし)です。
みなさんが、多可町の住み慣れたご自宅で安心して暮らしていけるこ
とができる「みんなの社会福祉協議会」として、介護保険サービスの提供や、在宅福祉サービス、ボランティア
活動の支援等の福祉活動を、微力ながら頑張る所存です。よろしくお願いします。

買い物ツアーが利用しやすくなりました！

《買い物ツアーって？》

買い物ツアーは、外出しにくいひとり暮らし高齢者の買い物を支援するもので、運転ボランティアが利用者宅から
お店までの送迎を行い、介助ボランティアが買い物の際のお手伝いを行うものです。
普段は月1回、区ごとに多可町内のお店に限って行っていますが、8月と12月は3区合同で町外へ出掛けています。

《どう変わったの？》

75歳以上ひとり暮らしの方



75歳以上のみの世帯の方

要するに…家族の誰かが75歳以上でしたら
利用していただけるようになりました！
その他詳しい内容についてはお気軽にお
問い合わせください！



ボランティアセンターだより

始めました！ 朗読テープ・CD・MD貸出

多可町図書館で初めて音声によるテープやCD、MD（音声図書）の貸出を始めました。町や社協（社会福祉協議会）の広報など、皆さんの身近なものを収録しています。多可町社協登録の朗読ボランティアが優しい声でわかりやすく読んでいますので、ぜひ一度お聞き下さい！

〈種類と内容〉

【ふくしねっと多可】

多可町社会福祉協議会が毎月発行している広報紙です。福祉に関する情報が満載です。後半には、神戸新聞の記事が入っています。

【議会だより】

多可町議会が3ヶ月に1回発行しています。

【オリジナル】

「議会だより」が発行されない月に、落語や俳句など収録します。朗読ボランティアの個性に満ちあふれています。

【広報たか】

多可町が毎月発行している広報紙です。



※貸出期間は1週間です。

※CD、MDはすべて2枚セットです。

ボランティアって？

ボランティアってどんな活動があるの？

ボランティアしたいけど、どうしたらいいの？

こんなことを思っている方、気軽に最寄りのボランティアセンターにお越し下さい。

グループで活動したり、個人で活動したり、あなたの気持ちや時間に合わせて相談に乗ります。

「あなたの笑顔をみんなに」



ボランティアグループ紹介

今回は給食サービスの活動をしておられる「ひまわりグループ」を紹介します。

Q. いつからされていますか。

平成8年から始めました。

Q. きっかけは何ですか。

婦人会の班長が終わった時に高田郷の方でグループを作りました。

Q. ボランティアをされていてよかったことは何ですか。

班長の活動が終わっても、仲良くなった班長さんと活動を通して、顔を合わせられることです。残念なことは、以前は、年4～5回活動があったのに、今は年2回になってしまったことです。

Q. これから、ボランティアをしようと思われる方にひとこと

しかたなくではなく楽しんで活動していただきたいです。活動もですが、私たちは顔を合わせて、活動後のおしゃべりが楽しみなんです。自分たちが楽しむことです。それがおいしい心のこもったお弁当になります。



リーダーの小林晃子さんからひとこと

ボランティアの役員をさせていただいてありますが、役員をしていなければ出会うことのない方と出会えてお互いよかったです。皆さんもいい出会いをしてください。

福祉カレンダー

5月



1日(土)	
2日(日)	・多可町遺族会 姫路護国神社春期大祭参拝
3日(月)	
4日(火)	
5日(水)	
6日(木)	・給食サービス ・手話養成講座 19:30～ ささゆりふれあいセンター ・心配ごと相談 (中) ・みどりの家とボランティアの交流
7日(金)	
8日(土)	
9日(日)	
10日(月)	・介護者のつどい (八千代)
11日(火)	・買い物ツアー (八千代) ・心配ごと相談 (加美)
12日(水)	・買い物ツアー (八千代)
13日(木)	・給食サービス ・手話養成講座 19:30～ ささゆりふれあいセンター ・地域見守り訪問 (八千代)
14日(金)	
15日(土)	・朗読ボランティア体験教室
16日(日)	・多可町身体障害者福祉協会 代議員総会
17日(月)	
18日(火)	・買い物ツアー (中) ・あすなろの郷とボランティアの交流
19日(水)	・地域見守り訪問 (中) ・買い物ツアー (中) ・心配ごと相談 (八千代)
20日(木)	・給食サービス ・手話養成講座 19:30～ ささゆりふれあいセンター ・みどりの家とボランティアの交流
21日(金)	・サロンスタッフ研修会
22日(土)	・多可町身体障害者福祉協会 兵庫県スポーツ大会
23日(日)	
24日(月)	
25日(火)	・買い物ツアー (加美)
26日(水)	・介護者日帰り旅行 (島根方面) ・買い物ツアー (加美) ・無料法律相談
27日(木)	・給食サービス ・手話養成講座 19:30～ ささゆりふれあいセンター
28日(金)	
29日(土)	・朗読ボランティア体験教室
30日(日)	
31日(月)	

サロンスタッフ研修会の開催

社協では、下記のとおりサロンスタッフ研修会を開催します。現在、スタッフとして活動中の方、またサロン活動に関心のある方、ぜひご参加下さい。みんなでサロン活動の輪を広げ、住みよいまちづくりを目指しましょう!!

と き 5月21日(金)
午後1時30分～3時00分

と ころ 中央公民館 大会議室 (中区)

内 容

- ・助成金申請手続き
- ・レクリエーション遊具の説明

弁護士による無料法律相談

日ごろ、疑問に思われていることや悩みなど、お気軽にご相談ください。

と き 5月26日(水)
午後1時～4時まで

と ころ 稲荷コミュニティセンター
(中区糀屋)

申込み 5月20日(木) まで (要予約)

※相談時間は1人30分とさせていただきます。

※当日の相談者は6名と
しています。
(申込み先着順)

ふとん丸洗いサービス

快適で衛生的な生活を
支援します!

普段使われている布団を丸洗いしませんか!

☆ 利用できる方

多可町内に居住しておられる次の方

- ・75歳以上ひとり暮らしの方
- ・身体障害者手帳「1級」の方
- ・75歳以上のみの世帯の方
- ・療育手帳「A判定」の方
- ・要介護認定「要介護5」の方
- ・精神障害者保健福祉手帳「1級」の方

※ 75歳以上とは、今年度末までに75歳以上になられる方
(昭和11年4月1日以前生まれの方) を含みます。

利用できる布団の種類

- ・敷布団 ・掛布団 ・肌布団
- ・毛布 ・毛布布団

※ 絹が入っているものは洗えません。材質により縮み・色落ちするものがあります。また、こたつ布団は対象外です。

締め切り

5月17日(月) まで

※ 代わりの布団がなければ無料で
布団 (掛・敷) を貸出します。

費用

ふとん丸洗いサービス費用の内、
1人5,000円までを補助します。
※ 5,000円を超えた額については
個人負担となります。詳しい
費用についてはお問い合わせ
ください。

申込み方法

所定の用紙にて社協各支部へ
お申込みください。
※ 印鑑が必要です。まずは社
協へご連絡ください。

申し込み・お問い合わせ先

- ◆ 本部・中支部 Tel. 32-3425
- ◆ 加美支部 Tel. 30-8151
- ◆ 八千代支部 Tel. 37-0360

- ◆ 居宅介護支援事業所 Tel. 30-8151
- ◆ デイサービスセンターやすらぎ Tel. 30-8151
- ◆ ヘルパーステーション Tel. 30-7110

- ◆ グループホームやすらぎの郷 Tel. 30-8153
- ◆ 春欄荘 Tel. 36-1381